

基準地番号	提出先	所属分科会名	業者名	株式会社二十一鑑定
墨田(都) 5 - 12	東京都	区部第5	氏名	不動産鑑定士 伊藤 慶彦 印

鑑定評価額	112,000,000 円	1㎡当たりの価格	410,000 円／㎡
-------	---------------	----------	-------------

1 基本的事項

(1) 価格時点	令和 3 年 7 月 1 日	(4) 鑑定評価日	令和 3 年 7 月 2 日	(6) 路線価	[令和 3 年1月]	320,000 円／㎡
(2) 実地調査日	令和 3 年 6 月 14 日	(5) 価格の種類	正常価格	路線価又は倍率		倍
(3) 鑑定評価の条件	更地としての鑑定評価					倍率種別

2 鑑定評価額の決定の理由の要旨

(1) 基準地	①所在及び地番並びに「住居表示」等				墨田区東向島五丁目225番3外「東向島5-3-6」				②地積(㎡)	272	⑨法令上の規制等					
	③形状		④敷地の利用の現況		⑤周辺の土地の利用の状況		⑥接面道路の状況		⑦供給処理施設状況		⑧主要な交通施設との接近の状況		近商(80,300)準防			
	1:1.5		店舗兼共同住宅S3		店舗兼共同住宅、店舗等が建ち並ぶ近隣商業地域		北5.6m区道		水道、ガス、下水		東向島50m		高度(3種最高22m)(その他)(90,300)			
(2) 近隣地域	①範囲		東 40m、西 10m、南 30m、北 30m						②標準の使用		中層店舗共同住宅地					
	③標準的画地の形状等		間口 約 13.5m、奥行 約 20m、規模 270㎡程度、形状 長方形													
	④地域的特性		特記事項		特記すべき事項はない。		街路 5.6m区道		交通施設		東向島駅東方50m		法令規制 近商(90,300)準防高度(3種最高22m)			
	⑤地域要因の将来予測		近隣地域に格別の変動要因はないため、現状と概ね同様の土地利用状態で推移するものと予測する。需要は住宅を中心に相応に認められるものの、当面の地価は概ね横ばいで推移する地域と予測する。													
(3) 最有効使用の判定		中層店舗共同住宅地							(4) 対象基準地の個別的要因		ない					
(5) 鑑定評価の手法の適用		取引事例比較法		比準価格 435,000 円/㎡												
		収益還元法		収益価格 336,000 円/㎡												
		原価法		積算価格 / 円/㎡												
		開発法		開発法による価格 / 円/㎡												
(6) 市場の特性		同一需給圏は墨田区北部から中央部にわたる近隣商業地域又は商住混在地域。需要者は、地縁の選好性を有する個人、法人が中心で、纏まった土地はマンション開発業者である。需給は、マンション適地や駅周辺の繁華性の高い地域を中心に概ね安定しており、新型コロナウイルス感染症の影響から徐々に回復しつつあるが、先行きは不透明である。中心となる取引は比較的小規模な画地であることが多く、その価格帯は概ね数千万円から1億円台である。														
(7) 試算価格の調整・検証及び鑑定評価額の決定の理由		熟成した商業地域であることから、各手法において規範性を有する事例資料を収集適用し得た。一方、主たる需要者はエンドユーザー又は投資目的の法人と判断するが、近隣地域及びその周辺地域の価格形成は自用目的での取引が主導し、収益性の土地価格に与える影響度は相対的に小さく、また想定要素も多く実証性に乏しい。従って、比準価格を重視し、収益価格を比較考量して、標準地及び指定基準地との検討も踏まえ、鑑定評価額を上記のとおり決定した。														
(8) 公規価示標準地と格しをた	①□代表標準地 ■標準地 標準地番号 墨田 5-8		②時点修正		③標準化補正		④地域要因の比較		⑤個別的要因の比較		⑥対象基準地の規準価格(円/㎡)		⑦内訳		標準 街路 0.0 地 街路 +1.0 準 交通 0.0 域 交通 -2.0 化 環境 0.0 要 環境 -6.0 補 画地 0.0 因 行政 0.0 正 行政 0.0 その他 0.0 その他 0.0	
	公示価格 378,000 円/㎡		[100.6] 100		100 [100.0]		100 [93.0]		[100.0] 100		409,000					
(9) 指か定ら基の準検地討	①指定基準地番号 墨田(都) 5-13		②時点修正		③標準化補正		④地域要因の比較		⑤個別的要因の比較		⑥対象基準地の比準価格(円/㎡)		⑦内訳		標準 街路 0.0 地 街路 +15.0 準 交通 0.0 域 交通 -4.0 化 環境 0.0 要 環境 +41.0 補 画地 0.0 因 行政 +7.0 正 行政 0.0 その他 0.0 その他 0.0	
	前年指定基準地の価格 681,000 円/㎡		[100.4] 100		100 [100.0]		100 [166.6]		[100.0] 100		410,000					
(10) 対年々象標の基準検準価討地格の等前か	①-1 対象基準地の検討 □継続 ■新規 前年標準価格 円/㎡				③ 価格変動状況要因の		〔一般的要因〕 区内人口は増加傾向で推移し、景気動向は新型コロナウイルス感染症の拡大の影響から徐々に回復しつつあるが不透明である。									
	①-2 基準地が共通地点(代表標準地等と同一地点)である場合の検討 □代表標準地 □標準地 標準地番号 - 公示価格 円/㎡						〔地域要因〕 東向島駅至近の最寄品の販売店舗や共同住宅を中心とした商業地域で、市場特性に特段の変化は認められない。									
	②変動率 年間 % 半年間 %						〔個別的要因〕 個別的要因に変動はない。									